

# 松平試農場とその蔵書

松平試農場とは、最後の福井藩主・松平茂昭の子である18代当主康莊<sup>やすたか</sup>が明治26年（1893）、旧福井城内に創設した農場です。青物野菜やリンゴ、ナシ、モモ、ブドウなどの果物を栽培しました。

大正10年（1921）に県庁建設に伴い細呂木村（現在のあわら市）に移転。昭和31年（1956）には坂井農業高校の同窓会に譲渡され、64年の歴史に幕を下ろしました。

このとき、試農場が所有していた数多くの蔵書も引き継がれ、50年以上にわたって大切に保管されてきました。本展示では、700冊を超える蔵書の中から特徴的なものを選んで紹介します。



「松平試農場」の蔵書印と並んで「坂井農業高校図書館」の黒印が捺印された書籍（受付日は昭和54年1月9日）

